



派遣研修先の農業者や応援してくれる皆様に感謝！

令和7年 新春

夢をカタチに日々一歩ずつ

研修農場新聞

新年特別号

(公財) 農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

新年明けましておめでとうございます。研修農場では本年も新規就農者育成に精一杯努めてまいります。関係する皆様方のご支援・協力を宜しくお願い申し上げます。

経営安定を目指すために熟考を

新年を迎え、研修生らは新たな気持ちで皆それぞれの目標に向けて取り組んでいる。2年生はあと3カ月弱。この間、就農モデルの実践や農家派遣研修等で様々な就農準備をしてきている。将来への期待も膨らむ一方で新たな不安や課題も出てくるだろうが、優先順位をつけて焦らず、一つずつ対処していこう。

抱負等を聞いたので、その一部を紹介したい。

研修生の今

より具体的に行動する2年生

磯田さん①酷暑の中での作付は計画通りに行かないことが多くあり、年々変化する気候に対応しながら農業をしていくことの難しさを痛感。派遣研修では、気候変動や世の中の流れに合わせ、経営も変えていくことや、若さや体力任せだけではなく、年齢を重ねてからも続けていくための視点や工夫がとても勉強になった。

また、農家派遣研修では都内約40戸の農家さんとの協力を得て、様々な営農技術や助言等をいただき、より遅く育てていただいたことに深く感謝いたします。そうした研修生に①昨年未までの感想②令和7年の

加藤さん①1年時にも経験していたが、やはり春作とは気を付けるべきポイントが違い、改めてそれを自身で経験できたのが良かった。派遣研修では、農家さんの年間の畑の移り変わりや、春作から秋作への転換など見ることが出来てとても勉強になった。

②年が明けたら就農までの期間は僅かなので、農地等の手続きなどの準備を3月までに済ませて、4月以降は生産等に注力できるように準備をする。それと同時に4月以降の作付や農機や資材等の購入スケジュールなど、来年1年間の流れを確認して、円滑に作業が進められるようにする。

熊川さん①気候の影響もあり想像以上に病害虫との戦いが難しく、予防と観察のレベルを上げる必要を感じた。派遣研修では様々な作物の生産から調整まで沢山のことを教えていただき、農業の奥深さに感謝。

②まずは計画通り、地域の方々に認められる荷を納めることに集中し、地域貢献を果たしながら実績を積み上げていきたい。

佐藤さん①派遣研修では就農地の立川だけでなく、日の出町のトマト農家さんで学ばせて頂いた。周年栽培

技術をたくさん学ぶ事ができましたし、何より就農後に相談できる縁が広がった事がとてもありがたい。アカデミーの実習では春作よりも少し気持ちの余裕をもって、栽培管理に取り組むことができた。夏の異常な暑さやゲリラ豪雨など難しい面もたくさん学べたことが良かった。



秋の収穫ピークの合間に研修生全員でパチリ

②本年4月はいよいよ就農本番。1～3月は自由に時間をつくれる最後のチャンスだと思つので、様々なことを想定し4月から良いスタートが切れるよう、やり残しが無いように準備していきたい。

横山さん①1人での農作業には多くの時間がかかることを改めて実感。2年目のテーマは「作業スピードを上げる」としていたが、まだまだ作業スピードも遅く、想定以上に時間がかかった。また昨年は雨も多く、突然



10～12月の主な出来事



(10月)

- ・3日 直売、4日 現地説明会③・同④ (12日)、7日 八王子農地調整
- ・10日 農業Week、16～19日 アグリパーク直売、20日 現地説明会⑤
- ・22～24日 職員研修、26日 財団フェア、30日 現地説明会⑥
- ・フードバンク提供 4、9、11、18、21、23、25、28日

(11月)

- ・7日 狛江市農家視察、9日 交通会館マルシェ出店
- ・13日 埼玉先進農家視察、15日 収穫祭、19日 直売
- ・23日、ファミリーデー、26～28日 中学生職場体験、28日 直売
- ・フードバンク提供 1、8、11、13、15、18、22、25、27日

(12月)

- ・6～7日 次期研修生実地試験、11日 東京都GAP現地審査
- ・14日 次期研修生面接試験、19日 年末大直売
- ・24日 大掃除、25日 研修生冬休み開始、27日 御用納め
- ・フードバンク提供 6、11、13、20、23、25、27日

気を引き締める1年生

太田さん①フロッコリーの病害虫の防除が想像以上に大変。9月から農家派遣研修が始まり、一流の農家さ

の大雨で作業が後手に回ることでも多かった。就農後は常に作業スピードを上げる工夫をしながら、トラブルも未然に防げるような対策を講じていきたい。

②今後、4月の就農に向けて、以前考えた計画を具体的な作業に落とし込み、その計画に沿って行動するだけで経営ができるようにしていく。特に、資材・肥料などを「いつ、何を、どこに、どうやって」使うかを明確にするなど、事前準備をしつかり行っていきたい。

高橋さん①秋作のフロッコリー栽培では、病気の影響で収量が減ってしまった。圃場環境や生育状況の観察、防除の重要性を再認識。農家派遣研修が9月から始まり、各農家での農業の考え方、作業方法など貴重な経

験をさせてもらった。

②研修1年目で学んできたことを活かして、就農後の農業経営についてよく考えていきたい。就農後を意識して栽培計画を考えていき、各品目の栽培特性の情報収集から適確な作業を実践していきたい。栽培方法について1つでも多く疑問点を解決していき、自分の成長を感じられる一年にしたい。

田中(圭)さん①春・秋まで実際の農作業や作型等を学ぶ事ができた。その中で特に適期防除や収穫適期、天候対策の大切さを思い知らされた。農家派遣研修では圃場での研修だけではなく農業を生業とする心構え、ご自身の経験談、またそれらの経験を踏まえての助言やアドバイスをいただいた。

②令和8年春からの新規就農に向けて、日々の実習や座学、計画を通じて一端の生産者になれるよう日々精進していきたい。

田中(慎)さん①秋野菜は夏野菜のように収穫に追われることがなかったが、害虫は多いので、野菜をこまめに観察し、農薬のタイミングを見逃さないことが重要と実感した。

②本年は就農後に自分が扱う野菜を一人で責任をもって育ててみたい。一年で学

んだ知識や技術を生かして、就農地の環境に応じた野菜の育て方等に着目しながらして挑んでいきたい。また、派遣研修を通して地域の農家さんと意見を交換して、どんな野菜が求められているのかも調べていきたい。

丹治さん①スピードを早くするための工夫を常に(作業前、作業中)心がけることが必要。天候による生育不順、天候対策用資材の限界を経験でき、就農前に栽培が想定通りいかないという農業の当たり前を学べたことが良かった。

②時間を無駄にしない。優先順位を見誤らず、将来に関わることに貪欲に取り組む。時に勇気をもってやらないと見切りをつける。

これまでの天候

昨年の10月は平年に比べ約3℃11月は約2℃高く、その後も約0.5℃高く推移した。この3ヶ月の降水量は10月が平年より多かったが、その後は少なかった。今後は平年並みと予想されているが、突然の大雪など災害級の異常気象や少雨による乾燥にも注意が必要だ。

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、YouTubeで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願いします！

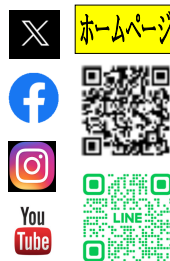
なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINEでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左記のQRコードより可能。



サラダごぼうもよくできました(10月)

研修農場 スナップ

2024年 10~12月



ク、インスタグラム、YouTubeで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願いします！

なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINEでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左記のQRコードより可能。



チャレンジ作物の初収穫(10月)
右: キャッサバ、なんと6kg
上: ナガイモや自然薯など



皆で農業weekを視察(10月)



緑肥(ソルゴー)導入で地力アップ(10月)



秋ウコンもよくできました(11月)



高温障害もあったけどまあまあの出来(11月)



農場産野菜の直売等(左)
今年も研修農場での直売に加え、立川の財団フェアや有楽町、飯田橋、新宿でのマルシェに出店
地域によって、畜産やニーズ等も異なり、栽培品目の選定や商品づくりなどにも勉強になっている。ご来店いただいた皆様ありがとうございます。



狛江市農業者の農場視察(11月)



研修生ファミリーデーを開催(11月)



収穫祭にご理事長らも参加(11月)



ニンジンの防寒対策
跳ね上げローターで土を被せる (12月)



自家採種したアシタマ種子の選別作業
簡易な箕での一次風選(12月)



自経営計画策定の講義・演習
真剣に自分の将来像を考え始める(11月)



地元中学生の職場体験
3日間本当によく頑張っていた (11月)